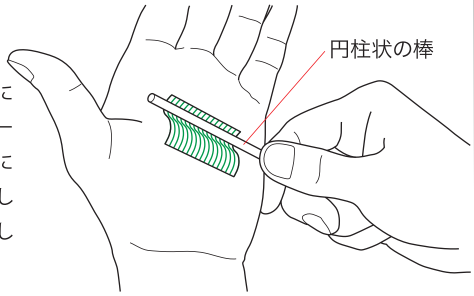
用意するもの

- ● はさみ　● カッターナイフ　● 定規　● ピンセット
- ● のり（合成ゴム系接着剤がオススメ、または木工用接着剤）
- ● 折りスジを付けるための道具（鉄筆や、インクの切れたボールペン）
- ● 丸みを付けるための円柱棒（編み棒や鉛筆など）
- ● 紙の切り口着色用塗料（アクリル絵の具や、サインペンなど）
- ● つまようじ　● 工作用マット など
- ●用紙（市販されているペーパークラフト専用紙光沢タイプ推奨）

アールの付け方

片方の手のひらにパーツを乗せ、アールを付ける部分に円柱状の棒を押し当てながら充分にしごきます。



作り方

1. パーツを切り取り線に沿って切り離します。
※パーツのカット面（紙の断面）は組み立て前に同色の絵の具やサインペンで、あらかじめ着色しておくと仕上がりが美しくなります。

2. --------- 山折り、—‐—‐— 谷折りの線に沿って折り目をつけます。鉄筆やインクの切れたボールペンなど、先のとがったものでスジをつけておくときれいに折れます。印刷面にキズを付けたくないときは紙の裏からスジを付けます。
※折るところはしっかり折るのがポイントです。

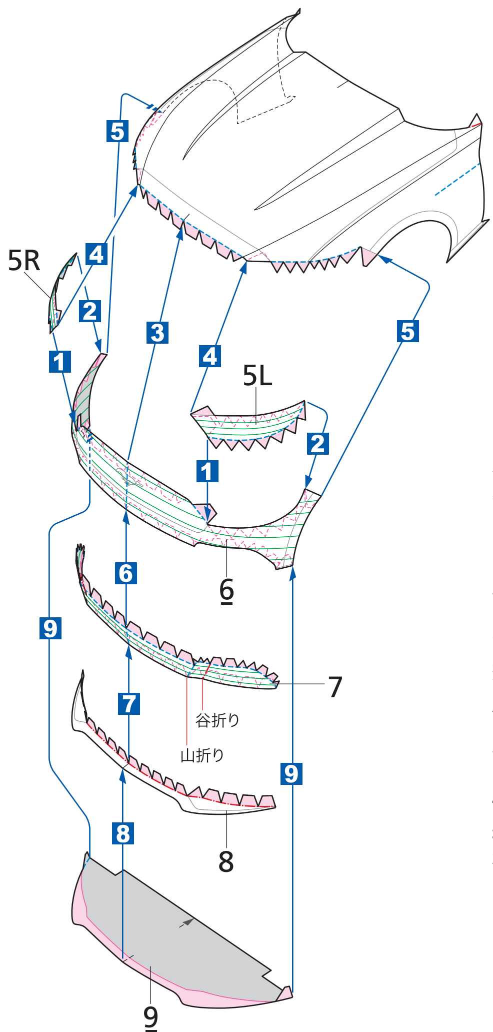
3. アール（丸み）をつけるところは、丸めたい部分の上に定規をあて、紙の端を持ち上げながら、定規をずらしてカールさせる方法と、左図のように円柱状のものを芯にして巻きつけながらしごく方法などがあります。
図の ═══ がアールをつけるところです。

4. 接着する前に組み立て図や完成写真をよく見て、どんな形になるのか仮組みをしてみます。　同時にアールの付き具合も確認しましょう。
接着剤は 紙のへら（紙の余白を利用してへらを作る）や、つまようじなどを使ってうすく塗るときれいに仕上がります。

5. 完成写真や組み立て図をよく見て、必ず、■ の番号順に接着してください。
※基本的にパーツ番号の1から順に2、3、4･･･と組み立てていくのが約束です。
図中の ▭ は紙の裏側、▭ はのりづけするところを表しています。
パーツNo.後ろのＬ/Rは運転席から見て **L** は 左側、**R** は右側を表しています。
※カッターナイフを使用する際は指など切らないよう充分ご注意ください。

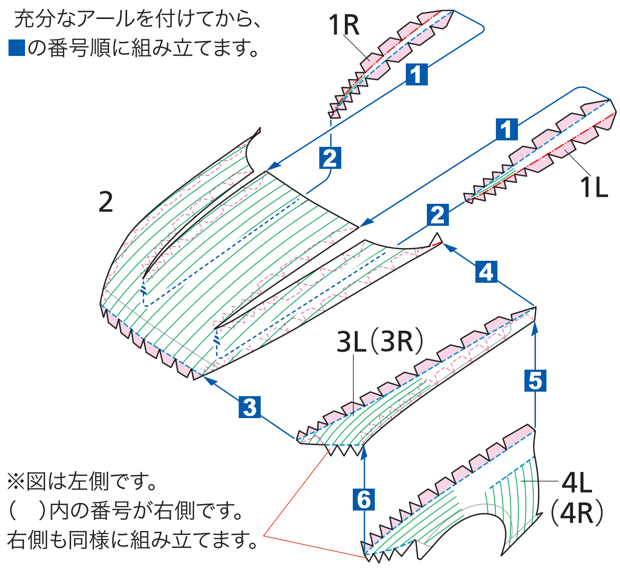
1

折るところはしっかり折るのがポイントです。 充分なアールを付けてから、■の番号順に組み立てていきます。

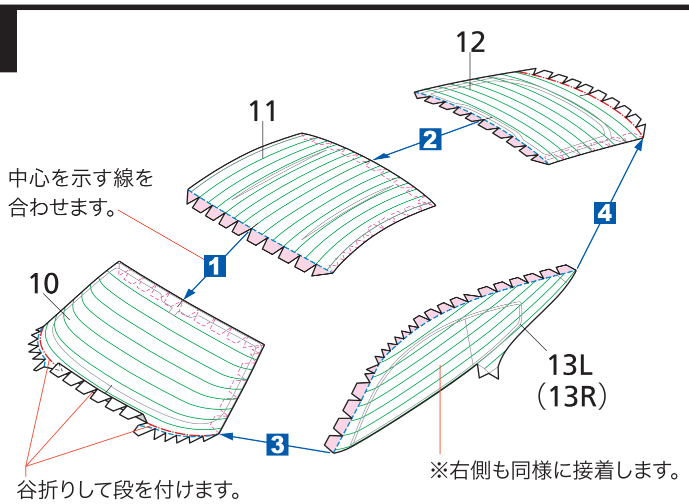


※各パーツの中心を示す線を合わせて順に接着していきます。

充分なアールを付けてから、■の番号順に組み立てます。



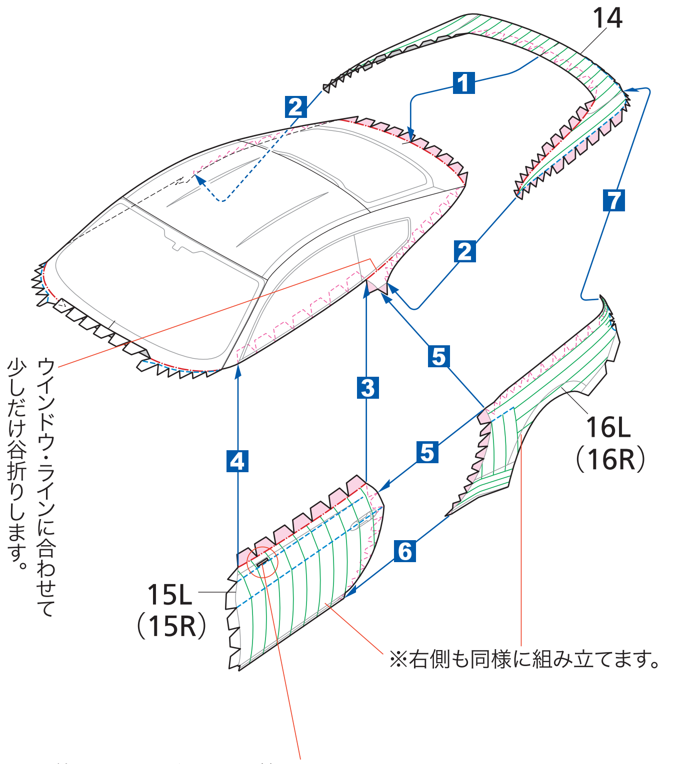
2



Go Further

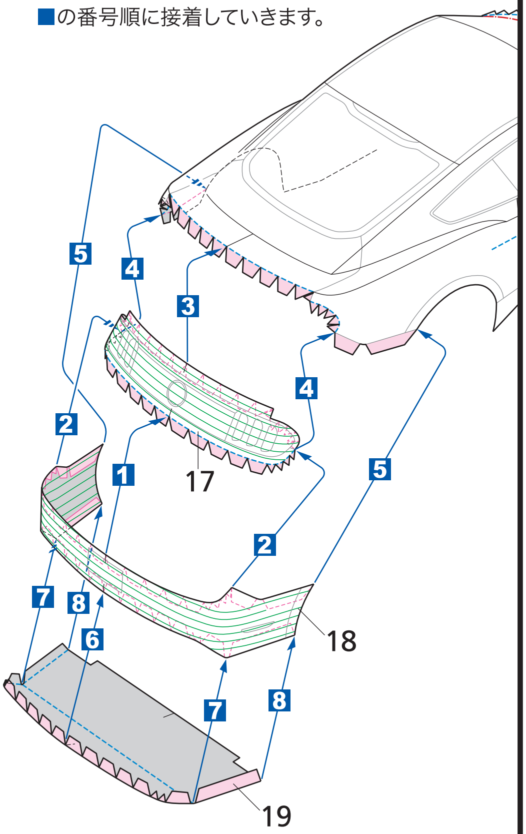
3

※各のりしろを内側に折り込んでおくと組み立てやすくなります。

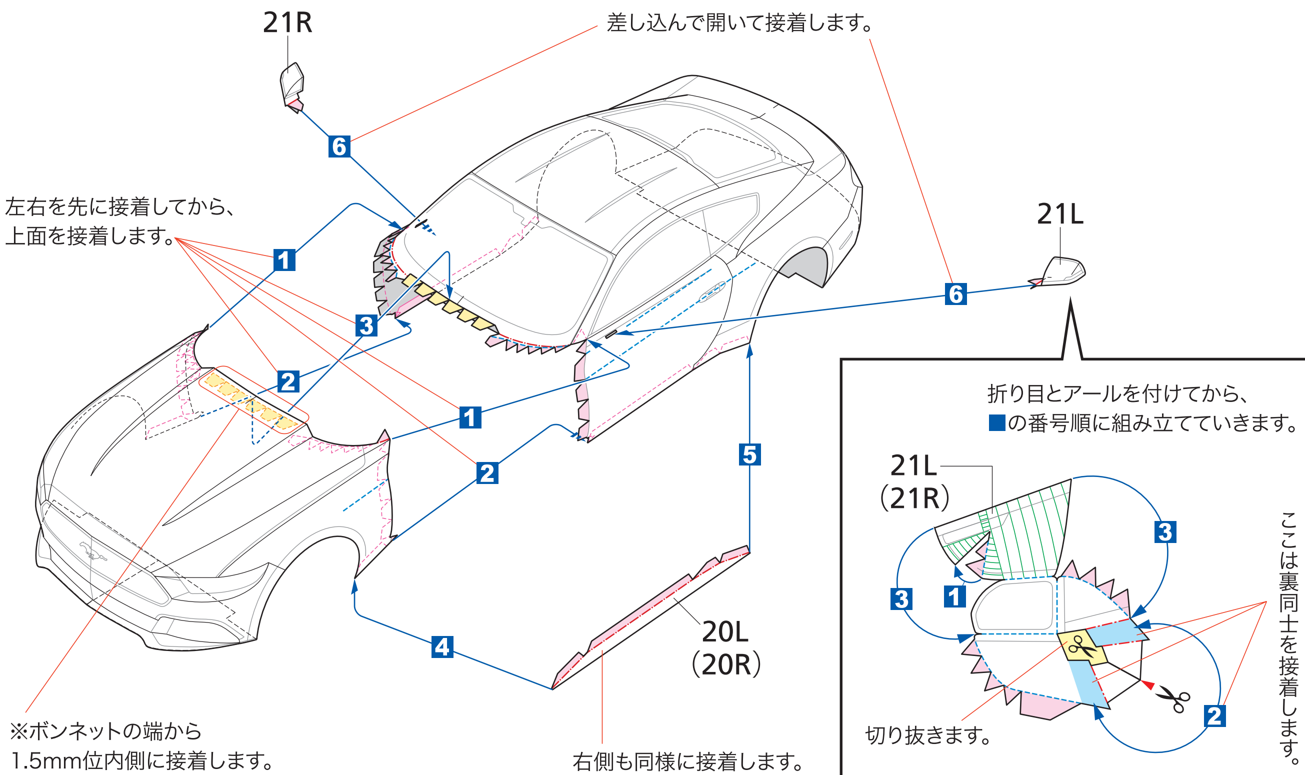


4

形に合わせてアールを付けてから、
中心を示す線を合わせながら
■の番号順に接着していきます。



5



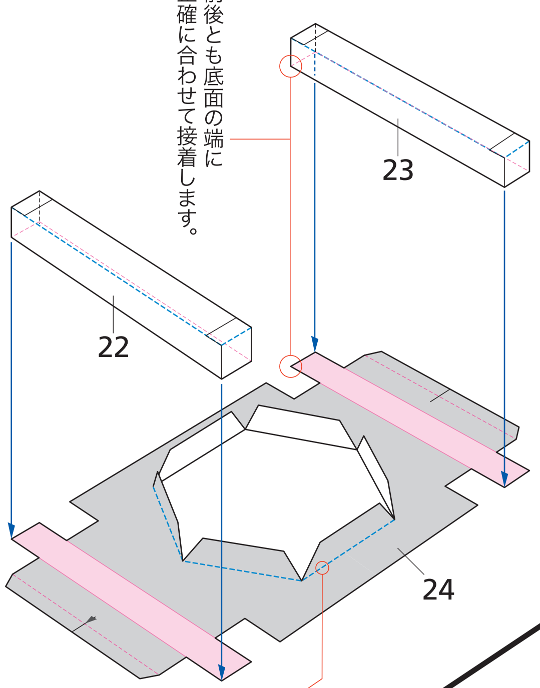
折り目とアールを付けてから、
■の番号順に組み立てていきます。

※右側も同様に組み立てます。

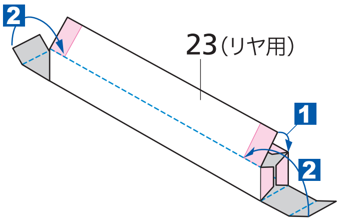
Go Further

6

前後とも底面の端に正確に合わせて接着します。



補強のため折り返すだけです。

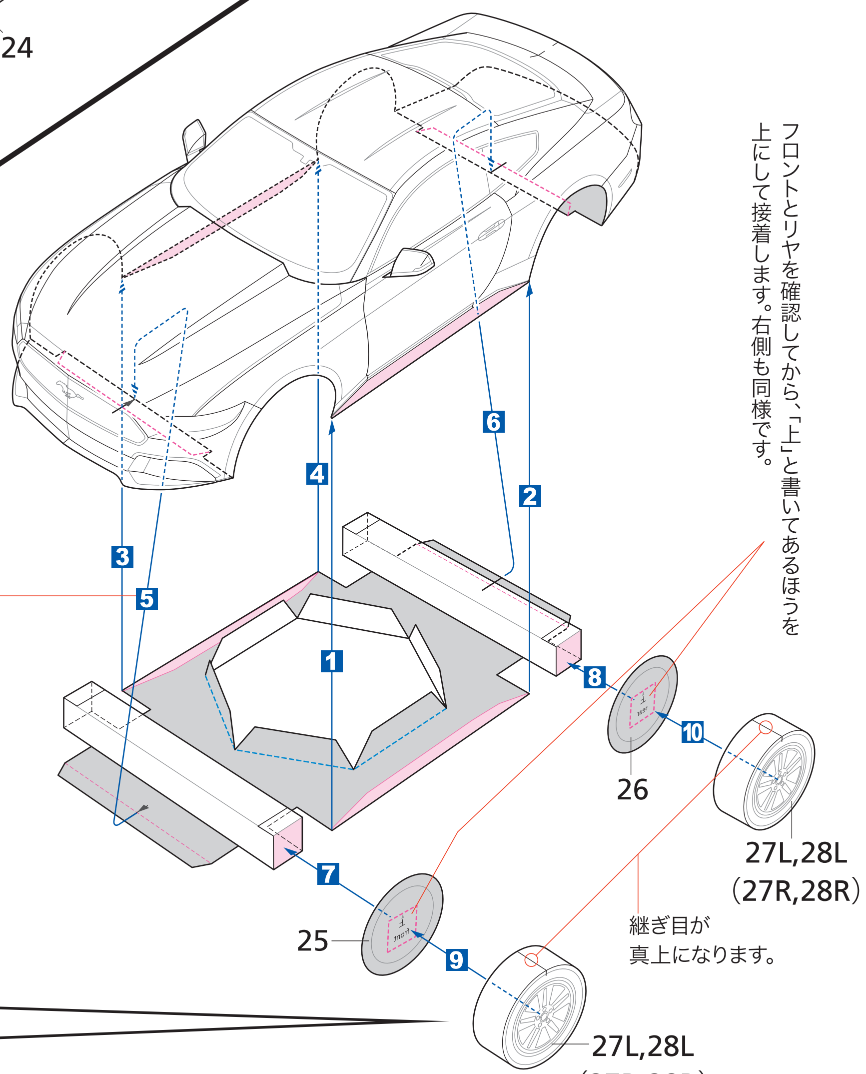


箱形に組み立てます。
22（フロント用）も作ります。

7

■の番号順に接着していきます。

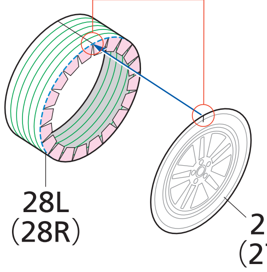
フロントとリヤを確認してから、「上」と書いてあるほうを上にして接着します。右側も同様です。



底面▲が前方になります。
▲が向かい合うように接着します。

継ぎ目が真上になります。

左右を確認して、トレッド面の継ぎ目とタイヤ側面の線を合わせて接着します。



左右とも2本ずつ作ります。

※車高やタイヤハウスとのすき間をよく見て、
四輪がきちんと接地するように、前後別けて接着します。

Go Further